



児童・保護者・地域から信頼される学校

校長 金児 京子

早々と梅雨が明け、連日の猛暑に体調維持することが大変な毎日です。休み時間の外遊びを中止する事も増えてきました。そんな中でも、教室から子どもたちの元気な声が響き、給食時の様子を見ている食欲も旺盛でお代りを希望する子どもも大勢います。熱中症と感染症の予防対策を同時に講じながら、子どもたちの一学期の学校生活を安全かつ無事に修める事ができるよう努めてまいりたいと思います。

本年度の目指す学校像の3つ目は『児童・保護者・地域から信頼される学校』です。この実現に向けて重要視していることは、「情報を共有すること」・「組織で対応すること」です。情報を校内で迅速に共有することは、対応の迅速さに直結します。そして、情報の共有は組織的に対応することにも直結するものです。本校では、課題が生じた場合は担当教員が学年や管理職に迅速に報告し、事実を把握し協議してから対応することを基本にしています。校内全体での情報共有は週2回の夕会を活用。状況によっては臨時夕会を開いて共有します。過去の苦い経験、成功体験からここに至っています。事実を各方面から総合的に捉え、より効果的な対応策を迅速に講じることが、教職員が自信を持って対応できることにもつながると実感しています。教職員の経験年数や経験内容はそれぞれ異なります。また、対応の違いが生じやすいことも事実です。しかし、課題を解決の方向に導いていく担い手となることに変わりありません。担当する教職員が課題に正対し、自信をもって対応していくための相談や検討ができる仕組みを強固にすることは管理職の役割だと考えます。子どもが教職員に安心して相談できる関係を築き、保護者・地域の皆様の声に誠実に耳を傾けて協働で課題解決する学校、信頼される学校を目指してまいります。

◆◆◆ 水泳学習・夏季水泳について ◆◆◆

○水泳学習の実施判断は、各学級の授業前の気温、水温、暑さ指数、気象情報等を基に行っています。気温と水温の合計値、暑さ指数、熱中症警戒アラートの発表などから危険と判断した場合には水泳学習を中止にします。

○夏季水泳の実施についても授業と同様に判断し「中止する場合」は該当学級または学年への保護者メール配信と西門への掲示にて連絡いたします。

7月の行事予定

生活目標 物を大切にしよう。

()の数字は学年を表します
☆スクールカウンセラー出勤日

日	曜	行事・活動
1	金	学校公開①～④ リレー公開(5,6)② 租税教室(6)③④ パースデー給食
2	土	
3	日	
4	月	全校朝会 委員会活動【4】 社会科見学(3)
5	火	安全指導日 人権週間終 ☆
6	水	
7	木	5時間授業 保護者会(1,2,3)15:00～ 音楽朝会(七夕) 避難訓練<煙体験(3)>
8	金	5時間授業 保護者会(4,5,6)15:00～ 町たんけん(2)②③
9	土	
10	日	
11	月	児童集会 クラブ活動【3】
12	火	朝:スポーツトライアル(5,6-1) ☆
13	水	朝:縦割り班活動【1】 中学校体験(6)
14	木	朝:スポーツトライアル(4,6-2) パースデー給食(8月)
15	金	朝:スポーツトライアル(1-1,3) 水道キャラバン(4)⑤⑥
16	土	
17	日	
18	月	海の日
19	火	朝:スポーツトライアル(1-2,2) ふれあい終了 着衣泳(5,6)①～④ ☆
20	水	終業式 4時間授業 給食終了 大掃除 13:15下校
21	木	夏季休業日始 学習教室<1> 図書館開放日<1>9:00～11:30
22	金	学習教室<2> 図書館開放日<2>9:00～11:30
23	土	荏原第四地区夏祭り
24	日	
25	月	夏季水泳<1> 図書館開放日<3>9:00～11:30
26	火	夏季水泳<2> 図書館開放日<4>9:00～11:30
27	水	夏季水泳<3> 図書館開放日<5>9:00～11:30
28	木	夏季水泳<4>
29	金	夏季水泳<5>
30	土	
31	日	

※予定は変更になることがあります。
学年だより等でご確認ください。
※スクールカウンセラーは8月30日(火)にも出勤します。

6月15日(水)～6月17日(金)に日光移動教室に行って参りました。やっと来ることでできた日光。その喜びと感謝の気持ちをもちながら、自分の役割に責任をもって活動に取り組みました。東照宮では、歴史の重みを実感しました。ハイキングでは、自然の雄大さに心を打たれました。仲間と笑い合い、支え合った3日間。帰校式に並ぶ姿からは、家を離れ寝食を共にして得た自信や仲間との絆の深まりが感じられました。目標であった「小学校生活史上最高の宿泊行事」を達成することもできました。たくさんの思い出や体験を通して学んだことを、残りの9ヶ月の学校生活に生かしてほしいです。保護者の皆様、様々なところでご協力いただきありがとうございました。



特別支援教育について

特別支援教育コーディネーター

本校では、一人一人の多様性を認め合い、自分らしい学び方で伸びようとする児童の育成を目指し、次の3つの柱で特別支援教育を進めています。

- ①学級内支援：学級担任が、一人一人の学び方の違いや困りを見取り、学習に向き合いやすい授業づくりや環境づくりを進めています。子どもたちの「できること」を増やすために、ICTを活用して内容に注意を向けやすくする、タブレットで板書を視写しやすくする、教室の不要な刺激（掲示物）を減らす、学習支援員や介助員による支援などを行っています。
- ②校内支援体制：教職員全員で子どもたちの実態を把握し、学校全体が一つのチームとなって対応しています。スクールカウンセラー、巡回相談員、関係機関とも連携し、適切な支援方法を検討しています。
- ③特別支援教室(ふれあい)：子どもたちの実態に応じて、担任やご家庭と相談しながら、ふれあい担当が、必要な指導(対人スキル・運動など)を行っています。今年度も子どもたちの「できた。」「分かった。」の体験が増えるよう取り組んでいきます。